

指揮者：橋本 徹雄

大阪音楽大学音楽学部卒業。1976・77年、オーストリア、モーツァルテウム音楽院にて指揮法などを学び、ディプロマを習得。毎回異なったテーマによるオーボエ・リサイタル・シリーズも14回を数え、高い評価を得ている。1988年、ドイツでライネッケ・トリオ(ホルン=マティアス・ベルク、ピアノ=ミヒャエル・デッカー)を結成。現在、関西シティ・フィルハーモニック名誉指揮者。大阪交響楽団、高石市民楽団の指揮者。和歌山大学交響楽団音楽監督。1997年よりヤマハ・フィルハーモニック大阪の音楽監督。プティ・バロック・アンサンブル主宰。日本演奏連盟会員。高石市民音楽団顧問。高石市音楽家クラブ会長。日本オーボエ協会理事。大阪音楽大学・高松短期大学講師。

アルト：堀口 莉絵

2002年大阪音楽大学音楽学部声楽学科声楽専攻卒業、同大学選抜学生による新人演奏会出演。2002年朝日新聞推薦演奏会出演。高石市新人演奏会等出演。2003年12月より渡独、ドイツ国立ミュンスター音楽大学留学。現在、ドイツ、イタリア、スイスにて活躍中。高石市音楽家クラブ会員、ピアチェーレ代表、関西歌劇団正団員。永井和子名誉教授、アンジェラ・ニック教授、ハンスペータ・ブロホヴィッツ教授、パウロ・ヴァリエリに師事。

ソプラノ：西村 文花

大阪音楽大学音楽学部声楽専攻を首席卒業、同大学院音楽研究科声楽研究室オペラ系修了。学部卒業時に最優秀賞を受賞。学内公演において、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ役、「魔笛」パミーナ役、「メリー・ウィドウ」ハンナ役、「シャモニーのリンダ」リンダ役にて出演。

バリトン：田中 勉

1984年文化庁芸術家国内研修員。1990～91年文化庁芸術家在外派遣研修員としてウィーン国立音楽大学に留学。大阪音楽大学大学院歌劇専攻修了。樋本栄、ワルター・モーア、ハンス・ホッター各氏に師事。現在、大阪音楽大学教授。関西歌劇団理事。日本シューベルト協会理事。

テノール：根木 滋

同志社大学工学部工業化学専攻後期博士課程修了。工学博士。2001年DAAD奨学生。オペラでは「タンホイザー」、「魔笛」、「フィレンツェの悲劇」、「ルクリーシア」、「ボエーム」、「つばめ」、「椿姫」、「トゥーランドット」、「ドンカルロ」、「蝶々夫人」などに出演する。現在、同志社女子大学薬学部准教授。関西二期会正会員、日本演奏連盟正会員、奈良県音楽芸術協会会員。

ピアノ：野村 友佳

大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。神戸松蔭女子学院大学教会音楽コース修了。モーツァルテウム音楽大学夏期国際アカデミーにてN.Shetler氏のクラスを受講し、ディプロマ取得。現在、バレエピアニスト、声楽や器楽、朗読等とのアンサンブルピアニストとして活動している。ピアノを田村利子、中村真理、伴奏法を幸野紀子の各氏に師事。オルガンは松蔭在学中に上野静江、大塚直哉、鈴木雅明の各氏に師事。

オーケストラ：アプラフィルハーモニー室内楽編成オーケストラ

